

四天王寺和らぎ苑

宣言の具体的実践のために、障がいを持つご利用者が安心して暮らせる和らぎ苑をご家族とともにつくることを目指して「和らぎ苑の誓い～和らぎ苑は一つの家族～」を平成29年度の事業計画に示した。これを実現するために、以下の7つの観点から、事業計画を策定し、障がいを持つ方とご家族の笑顔のために、ともに進んでゆきたいと願う。

～具体的な事業活動～

1. 理念の継承

朝礼の励行と、互いに挨拶からの始業。四天王寺福祉事業団の一員として、全ての人の幸せを願い「人の幸せをよろこびとして」「安心して暮らせる地域づくり」「人の尊厳と主体的な生活を守る」ことをむねに、専門職(プロフェッショナル)として職責を果たす。各人が和らぎ苑の顔、代表であるという意識を持ち、各部署での問題点、その解決策を提案・実行する。

2. チームで支える、利用者さん中心の施設

四天王寺和らぎ苑は、“和”で結ばれた大きな家族として、ご家族とともにご利用者を支える。温かで高度な医療で利用者さんを支え、より豊かな療養介護を提供する。多職種によるカンファレンスを開催し、チーム医療・療育を実践する。目標はご利用者の笑顔。

3. 地域のための施設

地区を支える基幹施設として、短期入所事業の拡張は重要項目である。質の向上とともに利用者数の増大ならびに医療的依存度の高い小児の受け入れを目指す。病棟での受け入れ体制整備と、通所、訪問事業、外来、病棟間での連携体制構築が重要である。通所事業の生活介護、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援は、ハード面での制限を念頭に、中長期を見据えた計画が必要である。訪問看護、訪問リハビリテーション、外来診療(内科、小児科、小児外科)、障がい児者リハビリテーション、歯科診療(障がい児者歯科、摂食嚥下、一般歯科)は地区になくはならない存在であり従前に増して基幹施設としての役割を果たす。

4. 安全で安心できる施設

安全管理は施設の生命線。医療安全、安全衛生管理、感染症対策、防災対策を各部署が、富田林苑と連携を図り、活用可能な対策を構築し、マニュアルを見直す。セーフティマネジメント機能の推進と強化。感染症対策、安全衛生管理の委員会活動を継続、深化させる。

5. 知識技術の向上、学術集会等への参画

職員は、各人が専門職(プロフェッショナル)として、知識と技術の向上を目指す。法人研究発表会への積極的参加とともに、国内外学会・研究会、研修会への参加および学術報告を推進する。

6. 教育システムの確立

組織として、専門職としての知識、技能、態度・情意を育成してゆく教育システムを構築する。これとともに次世代をになう人材を育成してゆく。

7. 経済的安定

経済的基盤の確保は、わたしたちの目標を達成するための礎。無駄な経費を削減するとともに、各人経営感覚を持つことが大事。以下に本年度の目標数値を挙げる。

施設入所(療養介護、医療型障害児入所施設)は定員満床を達成・維持し稼働率99.0%を目指す。短期入所50.0%、通所事業72.7%、外来診療124.3%、訪問看護62.3%をそれぞれ目指す。

～改善活動～

- (1) 高度で温かな医療の提供と医療収入の増収。
- (2) 療養環境の改善。
- (3) 在宅支援事業の強化。特に短期入所事業での人工呼吸器装着児、3歳未満児の短期入所受入れ。
- (4) 在宅支援のための中期計画立案と実現に向けての検討。
- (5) 防災、災害に向けて、マニュアル検証と実戦訓練の実施。